

DCダイワ・マネー・ ポートフォリオ

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ・マネー・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券 ロ. わが国の公社債
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（Ａ－２格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が１年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

運用報告書(全体版) 第２期 (決算日 2018年４月２日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「DCダイワ・マネー・ポートフォリオ」は、このたび、第２期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

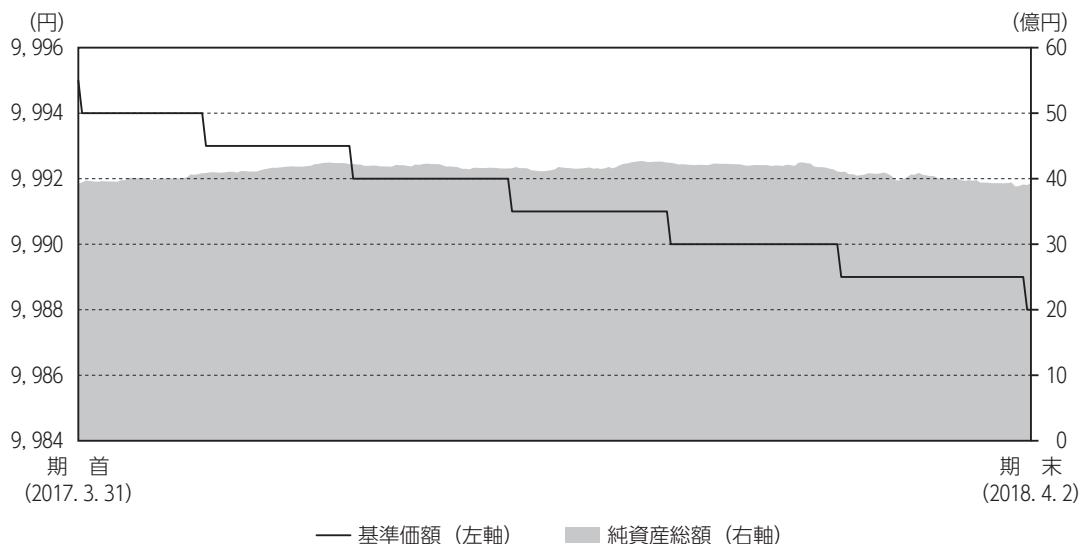
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		
	円	円	%	%	百万円
1 期末 (2017年 3 月31日)	9,995	0	△ 0.1	—	3,924
2 期末 (2018年 4 月 2 日)	9,988	0	△ 0.1	—	3,929

(注 1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：9,995円

期 末：9,988円

騰落率：△0.1%

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

DCダイワ・マネー・ポートフォリオ

年 月 日	基 準	価 額		公社債組入比率
		騰	落 率	
(期首)2017年 3月31日	円	%		%
	9,995	—		—
4月末	9,994	△	0.0	22.7
5月末	9,993	△	0.0	3.7
6月末	9,993	△	0.0	0.4
7月末	9,992	△	0.0	0.1
8月末	9,992	△	0.0	—
9月末	9,991	△	0.0	—
10月末	9,991	△	0.0	—
11月末	9,990	△	0.1	—
12月末	9,990	△	0.1	—
2018年 1月末	9,989	△	0.1	—
2月末	9,989	△	0.1	0.3
3月末	9,988	△	0.1	—
(期末)2018年 4月 2 日	9,988	△	0.1	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 4. 1 ~ 2018. 4. 2)

国内短期金融市況

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が維持される中、国庫短期証券（3 カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前期における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 4. 1 ~ 2018. 4. 2)

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2017年 4 月 1 日 ～2018年 4 月 2 日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。

今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 4. 1～2018. 4. 2)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	0円	0.000%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,991円です。
(投 信 会 社)	(0)	(0.000)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.000)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(―)	(―)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	―	―	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	―	―	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	0	0.001	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年4月1日から2018年4月2日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	861, 518	877, 837	858, 335	874, 515

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) ベビーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2017年4月1日から2018年4月2日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	91, 502	14, 170	15. 5	—	—	—
コール・ローン	15, 468, 248	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	245, 999	—	—	245, 999	—	—

平均保有割合4. 4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	2, 696, 970	2, 700, 153	2, 750, 376

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年4月2日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネー・マザーファンド	2, 750, 376	69. 8
コール・ローン等、その他	1, 190, 721	30. 2
投資信託財産総額	3, 941, 097	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年4月2日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3, 941, 097, 802円
コール・ローン等	1, 190, 721, 387
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	2, 750, 376, 415
(B) 負債	11, 997, 418
未払解約金	11, 980, 644
未払信託報酬	2, 132
その他未払費用	14, 642
(C) 純資産総額 (A－B)	3, 929, 100, 384
元本	3, 933, 733, 259
次期繰越損益金	△ 4, 632, 875
(D) 受益権総口数	3, 933, 733, 259口
1万口当り基準価額 (C／D)	9, 988円

※期首における元本額は3, 926, 189, 347円、当期中における追加設定元本額は2, 203, 113, 977円、同解約元本額は2, 195, 570, 065円です。

※当期末の計算口数当りの純資産額は9, 988円です。

※当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4, 632, 875円です。

■損益の状況

当期 自 2017年 4 月 1 日 至 2018年 4 月 2 日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 543, 492円
受取利息	194, 320
支払利息	△ 737, 812
(B) 有価証券売買損益	△ 1, 418, 832
売買益	464, 658
売買損	△ 1, 883, 490
(C) 信託報酬等	△ 34, 481
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1, 996, 805
(E) 前期繰越損益金	△ 479, 588
(F) 追加信託差損益金	△ 2, 156, 482
(配当等相当額)	(△ 353, 865)
(売買損益相当額)	(△ 1, 802, 617)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4, 632, 875
次期繰越損益金 (G)	△ 4, 632, 875
追加信託差損益金	△ 2, 156, 482
(配当等相当額)	(△ 353, 865)
(売買損益相当額)	(△ 1, 802, 617)
繰越損益金	△ 2, 476, 393

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	0
(h) 受益権総口数	3, 933, 733, 259□

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（DCダイワ・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年4月2日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を9ページに併せて掲載いたしました。

ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年4月1日から2018年4月2日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
657 国庫短期証券 2017/4/17	17,880,344		
659 国庫短期証券 2017/4/24	16,270,410		
669 国庫短期証券 2017/6/12	15,870,490		
644 国庫短期証券 2017/5/12	11,970,533		
660 国庫短期証券 2017/5/1	6,480,119		
650 国庫短期証券 2017/6/12	6,150,116		
665 国庫短期証券 2017/5/22	4,420,161		
661 国庫短期証券 2017/5/8	3,780,123		
666 国庫短期証券 2017/5/29	2,270,238		
671 国庫短期証券 2017/6/19	2,080,018		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

組入資産明細表

下記は、2018年4月2日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（71,735,649千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2018年4月2日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,996	<1.4>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第13期（決算日 2017年12月11日）

（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	本邦通貨表示の公社債
運 用 方 法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株 式 組 入 制 限	純資産総額の30%以下

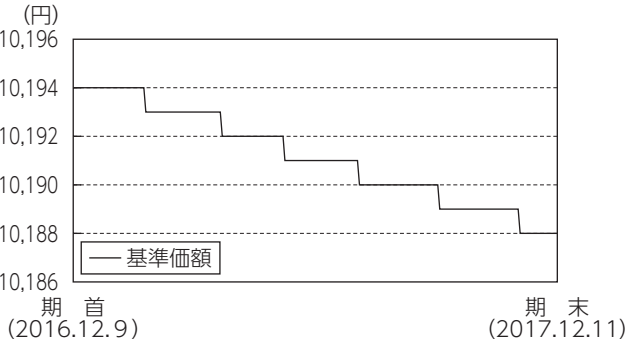
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率 %	組 入 比 %	
(期首)2016年12月9日	10,194	—	30.1	—
12月末	10,194	0.0	—	—
2017年1月末	10,194	0.0	30.7	—
2月末	10,193	△0.0	24.6	—
3月末	10,193	△0.0	—	—
4月末	10,192	△0.0	32.5	—
5月末	10,191	△0.0	5.2	—
6月末	10,191	△0.0	0.5	—
7月末	10,190	△0.0	0.1	—
8月末	10,190	△0.0	—	—
9月末	10,189	△0.0	—	—
10月末	10,189	△0.0	—	—
11月末	10,188	△0.1	—	—
(期末)2017年12月11日	10,188	△0.1	—	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,194円 期末：10,188円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額		売 付 額	
	千円		千円	
国債証券	210,925,408	—	(231,500,000)	—

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額		売 付 額	
	千円		千円	
国内短期社債等	246,999,814	—	(246,999,819)	—

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

買 付 額			売 付 額		
銘柄	金 額	千円	銘柄	金 額	千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	27,570,641	—			
657 国庫短期証券 2017/4/17	17,880,344	—			
642 国庫短期証券 2017/2/6	17,230,250	—			
652 国庫短期証券 2017/3/27	16,550,132	—			
659 国庫短期証券 2017/4/24	16,270,410	—			
669 国庫短期証券 2017/6/12	15,870,490	—			
651 国庫短期証券 2017/3/21	13,160,344	—			
644 国庫短期証券 2017/5/12	11,970,533	—			
638 国庫短期証券 2017/1/16	9,360,075	—			
648 国庫短期証券 2017/3/6	7,370,272	—			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.4>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,737,046	100.0
投資信託財産総額	69,737,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,737,046,159円
コール・ローン等	68,737,047,077
現先取引(その他有価証券)	999,999,082
(B) 負債	60,400,000
未払解約金	60,400,000
(C) 純資産総額(A－B)	69,676,646,159
元本	68,390,547,168
次期繰越損益金	1,286,098,991
(D) 受益権総口数	68,390,547,168口
1万口当り基準価額(C／D)	10,188円

* 期首における元本額は66,967,614,984円、当期中における追加設定元本額は143,241,011,614円、同解約元本額は141,818,079,430円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイウ・グローバルＩＯＴ関連株ファンド－ＡＩ新時代－(為替ヘッジあり) 977,694円、ダイウ・グローバルＩＯＴ関連株ファンド－ＡＩ新時代－(為替ヘッジなし) 977,694円、ダイウＦＥグローバル・バリュー(為替ヘッジあり) 98,069円、ダイウＦＥグローバル・バリュー(為替ヘッジなし) 98,069円、ダイウ／“R I C I”コモディティ・ファンド8,952,508円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド(為替ヘッジあり／年1回決算型) 1,676円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド(為替ヘッジなし／年1回決算型) 1,330円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ＤＣダイウ・マネー・ポートフォリオ 2,898,147,134円、ダイウファンドラップ コモディティセレクト 317,088,630円、ダイウ米国株ストラテジーα(通貨選別型) ートリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型) 132,757円、ダイウ米国株ストラテジーα(通貨選別型) ートリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型) 643,132円、ダイウ米国株ストラテジーα(通貨選別型) ートリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース(毎月分配型) 4,401,613円、ダイウ米国株ストラテジーα(通貨選別型) ートリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型) 12,784円、ダイウ／フィデリティ北米株式ファンド－パラダイムシフター 9,853,995円、ブルベア・マネー・ポートフォリオⅣ 25,987,316,146円、ブル3倍日本株ポートフォリオⅣ 31,864,786,854円、ベア2倍日本株ポートフォリオⅣ 7,199,848,570円、ダイウＦＥグローバル・バリュー株ファンド(ダイウＳＭＡ専用) 4,090,590円、ダイウ米国高金利社債ファンド(通貨選別型) ブラジル・リアル・コース(毎月分配型) 155,317円、ダイウ米国高金利社債ファンド(通貨選別型) 日本円・コース(毎月分配型)

型) 38,024円、ダイウ米国高金利社債ファンド(通貨選別型) 米ドル・コース(毎月分配型) 4,380円、ダイウ米国高金利社債ファンド(通貨選別型) 豪ドル・コース(毎月分配型) 22,592円、ダイウ／アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイウ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 68,368,780円、ダイウ新興国ハイインカム・プラスⅡ ー金積立型ー 501,660円、ダイウ新興国ハイインカム債券ファンド(償還条項付き) 為替ヘッジあり 1,004,378円、ダイウ新興国ソブリン債券ファンド(資産成長コース) 33,689円、ダイウ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース) 96,254円、ダイウ・インフラビジネス・ファンド ーインフラ革命ー (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイウ・インフラビジネス・ファンド ーインフラ革命ー (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイウ米国ＭＬＰファンド(毎月分配型) 米ドルコース 285,029円、ダイウ米国ＭＬＰファンド(毎月分配型) 日本円コース 144,570円、ダイウ米国ＭＬＰファンド(毎月分配型) 通貨αコース 13,437,960円、ダイウ英国高配当株ツインα(毎月分配型) 98,107円、ダイウ英国高配当株ファンド 98,107円、ダイウ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ 1,229,944円、ダイウ・世界コモディティ・ファンド(ダイウＳＭＡ専用) 235,407円、ダイウ米国高金利社債ファンド(通貨選別型) 南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型) 1,097円、ダイウ米国高金利社債ファンド(通貨選別型) トルコ・リラ・コース 2,690円、ダイウ米国高金利社債ファンド(通貨選別型) 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,350円、ダイウ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 株式αコース 98,203円、ダイウ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 通貨αコース 98,203円、ダイウ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース 982,029円、ダイウ米国株ストラテジーα(通貨選別型) ートリプルリターンズー 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,188円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 41,076,414円
受取利息	△ 5,752,611
支払利息	△ 35,323,803
(B) 有価証券売買損益	△ 9,224
売買損	△ 9,224
(C) その他費用	△ 196,417
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 41,282,055
(E) 前期繰越損益金	1,302,196,055
(F) 解約差損益金	△ 2,715,466,915
(G) 追加信託差損益金	2,740,651,906
(H) 合計(D+E+F+G)	1,286,098,991
次期繰越損益金(H)	1,286,098,991

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。